

# 平成28年度 全国学力・学習状況調査 上富良野町の結果について

平成28年11月10日  
上富良野町教育委員会

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査対象学年

町内小学校第6学年、町内中学校第3学年      原則として全児童生徒

### 3 調査内容

#### (1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li> <li>・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力</li> <li>・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など</li> </ul>

#### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査</li> </ul>

### 4 調査の期日      平成28年4月19日（火）

### 5 調査を実施した学校・児童生徒数(全国悉皆調査)

	学 校 の 実 施 率		児 童 数	生 徒 数
全 国 (公立)	小学校 98.4%	中学校 96.1%	1,021,905	996,365
全 道 (公立)	小学校 98.1%	中学校 96.0%	40,277	41,231
上富良野町	小学校 100 %	中学校 96.9%	93	95

## II 調査の結果

※ 今回の調査で測定できるのは「学力の特定の一部分」であり、子どもの学力の全てでないというおさえに立っています。

## 1 児童生徒の学力の状況について

小学校は、国語Bが全国平均正答率とほぼ同様となったが、国語A、算数A・Bにおいて、全国平均正答率より下回った。昨年度に比べ、全国平均正答率との差が小さくなってきている。

中学校は、国語A・Bが全国平均正答率とほぼ同様であり、数学A・Bが全国平均正答率より上回った。国語は、全国平均正答率との差がほぼ昨年度と同様であるが、数学は昨年度以上に上回っている。

### (1) 小学校

科 目	全道平均	全国平均	全国に対する上富良野町の平均正答率
国語A(主として知識)	71.0	72.8	全国平均正答率より下回る
国語B(主として活用)	56.0	57.8	全国平均正答率とほぼ同様
算数A(主として知識)	75.3	77.6	全国平均正答率より下回る
算数B(主として活用)	44.5	47.2	全国平均正答率より下回る

### (2) 中学校

科 目	全道平均	全国平均	全国に対する上富良野町の平均正答率
国語A(主として知識)	75.1	75.6	全国平均正答率とほぼ同様
国語B(主として活用)	65.0	66.5	全国平均正答率とほぼ同様
数学A(主として知識)	61.8	62.2	全国平均正答率より上回る
数学B(主として活用)	43.3	44.1	全国平均正答率より上回る

※上記の基準 「上回る」 +3以上 「やや上回る」 +1～+3  
「ほぼ同様」 ±1  
「下回る」 -3以下 「やや下回る」 -1～-3

## 2 児童生徒質問紙の傾向について

- ※ 共通質問のうち、特徴のあるものを抜粋しています。
- ※ 網掛けは、全国平均より高い結果を表しています。
- ※ 数字は%、「している」「どちらかといえばしている」など肯定的な割合の合計です。

### (1) 家庭での生活・学習について

家庭生活について、小・中学校とも概ね基本的な生活習慣が身についている。小学校においては、予習・復習など計画的に家庭学習する時間が増えているが、学校以外での学習時間が全国平均よりも少ない。

小学校・中学校ともに、平日のテレビ・ビデオ等の視聴やゲームに費やす時間が多くなっている。また、長時間にわたって携帯電話やスマートフォンで通話・メール等をする割合が高くなっている。

質 問 事 項	小学校	全 国	中学校	全 国
朝食を毎日食べている	94.7	95.5	94.8	93.3
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	78.5	80.1	79.2	75.2
毎日、同じくらいの時刻に起きている	89.2	90.8	91.7	92.3
家の人と学校の出来事を話す	88.2	79.2	69.8	74.1
家で、計画を立てて勉強している	74.2	62.2	34.4	48.4
家で、宿題をしている	96.8	97.0	89.6	90.1
家で、予習・復習をしている	71.0	70.9	33.9	42.6

○平日、1日当たりどれくらいの時間、TVやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか？

	4時間以上	4～3時間	3～2時間	2～1時間	1時間以下	全くしない
小学校	20.4	16.1	23.7	30.1	8.6	1.1
全 国	16.0	16.8	24.3	26.9	13.9	2.0
中学校	13.5	13.5	28.1	28.1	16.7	0.0
全 国	10.7	13.4	24.6	30.6	18.2	2.3

○平日、1日当たりどれくらいの時間、TVゲーム(コンピュータ・携帯式ゲーム含む)をしますか？

	4時間以上	4～3時間	3～2時間	2～1時間	1時間以下	全くしない
小学校	6.5	16.1	22.6	20.4	25.8	8.6
全 国	8.2	7.8	13.7	25.3	31.1	14.0
中学校	14.6	20.8	18.8	19.8	18.8	7.3
全 国	9.7	9.2	16.0	22.2	26.3	16.6

○平日、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか？(携帯電話やスマートフォンでゲームをする時間は除く)

	4時間以上	4～3時間	3～2時間	2～1時間	1時間以下	全くしない
小学校	0.0	7.5	3.2	6.5	33.4	49.5
全 国	3.0	2.8	4.6	8.1	42.6	38.9
中学校	11.5	11.5	16.7	15.6	16.7	28.1
全 国	8.6	8.0	13.5	17.7	33.1	18.8

○平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか？(学校の授業以外で学習塾や家庭教師に教わっている時間も含む)

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分以下	全くしない
小学校	3.2	18.3	37.6	33.3	6.5	1.1
全 国	10.8	14.7	37.0	25.4	8.9	3.0
中学校	2.1	12.5	26.0	20.8	19.8	18.8
全 国	9.4	24.8	33.7	17.7	8.9	5.5

(2) 学校での生活・学習について

「学校へ行くのが楽しい」「学校で友達に会うのは楽しい」が、小学校で全国平均を上回った。「学校のきまり（規則）を守る」については、小学校・中学校で全国平均より上回った。「好きな授業がある」が小・中学校とも全国平均を上回っている。国語を「好き」が小学校・中学校とも全国平均より大きく上回っている。中学校では、数学が「好き」も全国平均を上回っている。また、「授業の内容はよく分かる」も、中学校で全国平均より高い。

質 問 事 項	小学校	全 国	中学校	全 国
学校に行くのは楽しい	92.2	86.3	76.1	81.4
学校で友達に会うのは楽しい	88.2	82.9	65.6	75.8
学校のきまり（規則）を守っている	92.2	91.5	100.0	94.7
将来の夢や目標を持っている	83.9	85.2	66.7	71.7
好きな授業がある	96.8	93.5	84.4	79.9
国語の勉強は好き	68.9	58.3	76.0	59.8
国語の授業の内容はよく分かる	78.8	80.7	75.0	74.1
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	91.4	89.2	87.5	84.6
算数・数学の勉強は好き	57.0	66.0	86.4	80.5
算数・数学の授業の内容はよく分かる	69.9	80.2	87.6	60.4
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	90.3	89.9	81.3	71.5

(3) 関心・意欲・態度等について

関心・意欲・態度等について、小・中学校とも全国平均よりも上回っている項目が多い。特に、中学校においてはほとんどの項目で全国平均を上回っている。

質 問 事 項	小学校	全 国	中学校	全 国
最後までやり遂げうれしかったことがある	95.7	94.4	95.9	94.3
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	74.2	76.1	84.4	69.6
自分には、よいところがあると思う	76.4	76.3	66.7	69.3
新聞を読んでいる（ほぼ毎日と週1～3回）	22.6	24.0	18.8	18.3
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある（テレビやニュースなど）	66.6	70.6	67.8	65.8
地域行事に参加している	75.3	67.9	46.9	45.2
人が困っているときは進んで助けている	84.9	84.6	86.5	83.8
いじめは、どんな理由があってもいけないと思う	95.7	96.6	96.9	93.6
人の役に立つ人になりたい	95.7	93.8	94.8	92.8

(4) 読書について

小学校では、「読書は好き」が全国平均より9ポイント低く、家や図書館での読書時間も短くなっている。

中学校では、「読書は好き」が全国平均より13.4ポイント高く、読書の時間もかなり長くなっている。

質 問 事 項	小学校	全 国	中学校	全 国
読書は好き	65.6	74.6	83.3	69.9

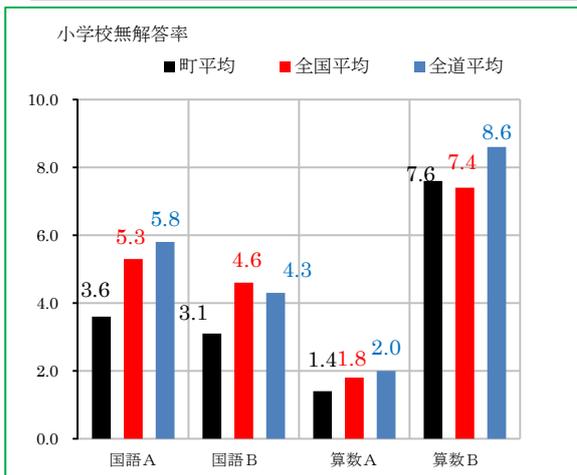
○平日、家や図書館で、1日当たりどれくらいの時間読書しますか？

	2時間以上	1～2時間	30～60分	10～30分	10分以下	全くしない
小学校	3.2	5.4	16.1	30.1	15.1	30.1
全 国	6.8	9.9	19.8	27.0	15.9	20.6
中学校	4.2	12.5	18.8	27.1	14.6	22.9
全 国	5.5	8.1	14.6	21.5	13.1	37.2

(5) 児童生徒の無解答の状況について

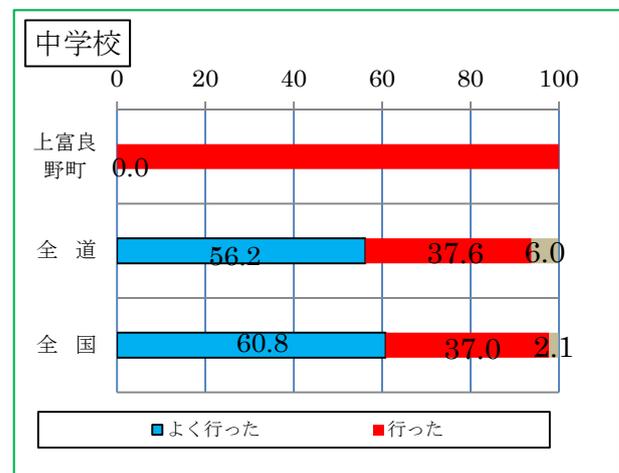
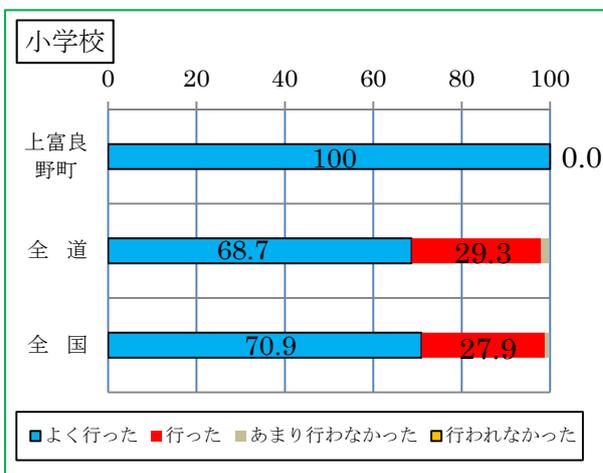
小学校は、国語A・B、算数Aで無解答が全国平均より少なくなっている。算数Bも全国と0.2ポイントとほぼ同様で、全道平均よりも少なくなっており、問題に対し最後まで粘り強く解答する傾向が見られる。

中学校は、国語B、数学A・Bで無解答が少なく最後まで解答する努力をしている。特に数学Aは全国平均の10分の1、数学Bが3分の1の無解答率になっていて、数学に対し高い意欲を示している。

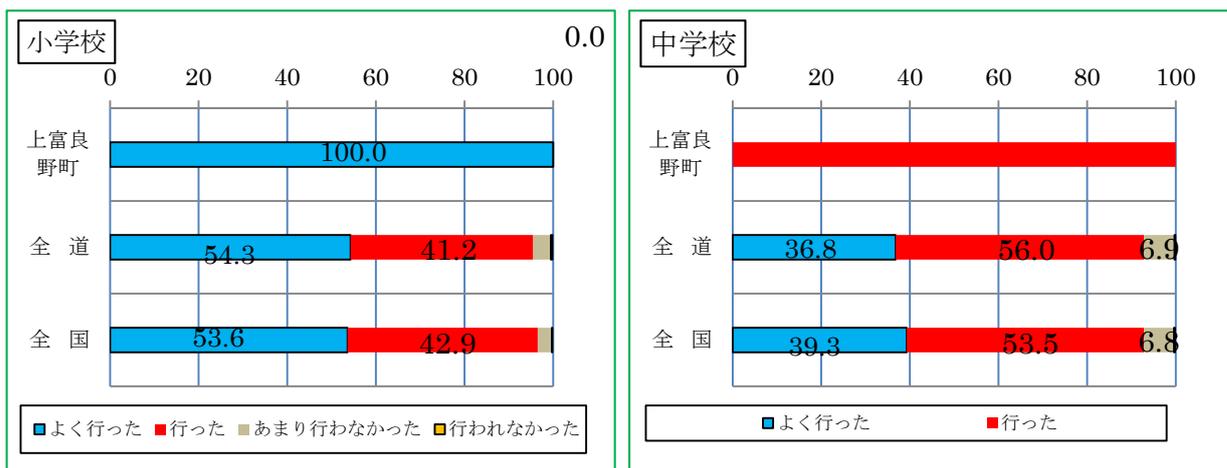


### 3 学校質問紙の傾向について

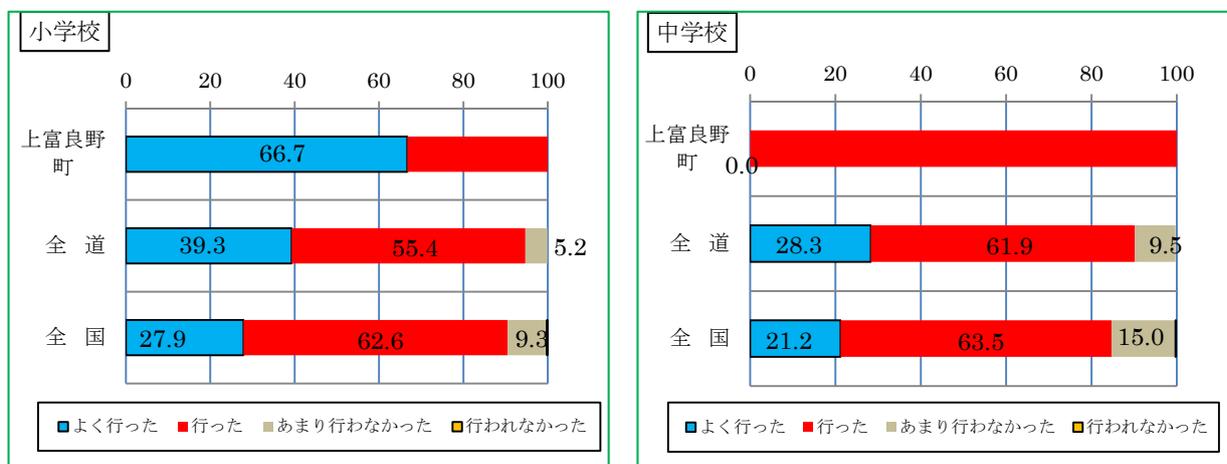
(1) 授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に行っているか？



(2) 授業の中で学級やグループで活動を計画的に行っているか？



(3) 資料を使って発表ができるように指導を行っているか？



### Ⅲ 成果・課題と今後の取組

#### 1 学力向上への指導等において

小学校では、国語・算数 AB 問題とも全国平均正答率を下回っているが、国語への「関心・意欲・態度」は高く、B 問題については着実に近づいている。また、「無回答率」が低く、問題に答えようという意欲が高く、まじめに取り組む態度が身についてきている。中間層が少なく二極化の傾向がみられ、各学校で作成している「確かな学力育成プラン」に基づいた、学習規律の徹底や授業の充実、指導方法の工夫改善をより一層進めることが必要である。

中学校では、国語が全国平均正答率とほぼ同様、数学が大きく上回っている傾向が続いており、基礎基本の確実な定着が図られていることが明らかになっている。また、小学校と同様に無回答率が低く、問題に答えようという意欲が高く、まじめに取り組む態度が身についてきている。これまでと同様に、「確かな学力育成プラン」に基づいた様々な取り組みを着実に実施していくことが重要である。

#### 2 小学校・中学校ともに、TV・ビデオ等の視聴や、TVゲーム、携帯電話・スマホ等によるメール等に費やす時間が多く、学校以外で学習する時間が少ない。児童生徒の学習機会を増やす「ちよこっと学習」・地域や子供にかかわる団体による「土曜日の学習活動」の工夫が必要である。

また、教育委員会で作成している「家庭学習のすすめ」や各学校の「家庭学習の手引き」、「生活リズムチェックシート」を活用し、家庭と連携した取り組みも計画的に進める必要がある。

3 児童生徒質問紙では、小・中学校ともに前向きな回答が多く見られ、一人一人に応じたきめ細やかな指導により、児童生徒が充実した学校生活の過ごしていることがみられる。

今後、学校・家庭、行政がより連携を深め、「学ぶことが楽しい」、「将来の夢や目標がある」と児童生徒が実感できる、体験的な活動の工夫や充実を進める必要がある。

4 学校質問紙では、町内の学校数が少ないため全国との比較はできないが、学習規律の徹底、ICTを活用した能動的な学習、読書に親しむ習慣づくりなど、学力向上へ向けた取組・指導方法の改善積極的に取り組みを進めている。